

山形大学短期交換留学プログラム

STEP-YU

Short-Term Exchange Programs at Yamagata University

Spring Semester 2023 - Spring Semester 2024

内容

1. 山形大学の概要
2. 山形大学短期留学交換プログラム (STEP-YU) の概要
3. 各プログラムのねらいと特色
 - (1) 学部・大学院一般交換留学 (Ippan)
 - (2) Yamagata University Japan Studies Program (JSP)
4. 授業の紹介
5. 日本での生活
6. 応募方法と締め切り
7. 結果の通知

問い合わせ先

山形大学小白川キャンパス国際センター

小白川キャンパス事務部

運営支援課留学支援担当

〒990-8560 山形市小白川町 1-4-12

E-mail: yu-int-office@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

電話:+81-23-628-4119,4927 FAX:+81-23-628-4957

<http://www.yamagata-u.ac.jp>

1. 山形大学の概要

山形大学は6学部12学科、6研究科を有する総合大学で、山形県内3地区にある4キャンパス¹では約9,000人の学生が学んでいます。東北地方有数の総合大学として、研究・教育の中心となる役割を果たしています。

山形大学は、「自然と人間の共生」をテーマとし、教育、研究及び地域貢献に全力で取り組み、次世代を担う人材の育成、知の探究・継承・発展、及び豊かな地域社会の実現に努め、もって人類全体の幸福と国際社会の平和的持続的発展に貢献することを教育理念としています。

山形大学では、2022年5月1日現在、35の国と地域から来た259名の留学生が学んでいます。海外には31の国と地域に89の交流協定校等があり、学生や教職員の交流を行っています。

2. 山形大学短期留学交換プログラムの概要

山形大学は、本学と学生交流協定を締結している大学等の学生を、その大学に在籍したまま山形大学に受入れる短期交換留学制度を設けています。これらのプログラムを総称して、**山形大学短期交換留学プログラム (STEP-YU)** と呼びます。

プログラム名	滞在期間	対象者*
(1) 学部・大学院一般交換留学 Ippan: General Exchange Program	半年又は1年	大学間交流協定校に所属する学生
(2) Yamagata University Japan Studies Program (JSP)	半年又は1年	大学間交流協定校に所属する学生

協定校との間で、単位互換と授業料等相互不徴収（協定で決められた人数）が定められています。

*協定校一覧は、山形大学のサイトを参照してください。



¹ 山形地区には小白川キャンパス（人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部、学士課程基盤教育機構）、飯田キャンパス（医学部）があります。また、米沢キャンパスには工学部、鶴岡キャンパスには農学部があります。

3. 各プログラムのねらいと特色

(1) 学部・大学院一般交換留学（略称：Ippan）

《ねらい》

諸外国の学部学生および大学院生が、日本語能力を高め日本についての理解を深めるとともに、専門の勉学・研究を行うことを目的とします。

《特色》

日本語による通常の講義が提供されるプログラムで、全学部・全研究科で受入れ可能です。ただし協定によっては学部生に限定されています。

学部の専門科目を履修するには、国際交流基金（Japan Foundation）が行う日本語能力試験N2レベル合格程度の日本語能力を有することを明示する必要があります。

なお、理系の大学院生の場合、英語で研究を行う分野もありますが、生活する上で日本語能力は必要です。従って、日本語能力が低い学生には、来日前及び山形大学での日本語学習を強く勧めます。申し込み後に他のプログラムに変更してもらうこともあります。英語で研究が行えるかどうかは、各研究科に問い合わせてください。

《期間》

2023年4月1日から2023年9月30日または2024年3月31日まで

2023年10月1日から2024年3月31日または2024年9月30日まで

《応募条件》

大学間協定校に在籍する学部学生または大学院生²。応募時に学部2年次以上で、原則として、国際交流基金（Japan Foundation）が行う日本語能力試験N2レベル合格程度の日本語能力を有することが必要です。

なお、交換留学前又は交換留学期間中に在籍大学を卒業する学生は、応募することができません。

※ 工学部・大学院理工学研究科工学系・有機材料システム研究科で専門科目授業の受講又は専門分野の研究をしたい方は、工学部の受入プログラムであるSTEP-YUFEの募集要項に記載の応募条件に基づき、STEP-YUFEの応募書類様式を使用して応募してください。STEP-YUFEの募集要項・応募書類様式は、山形大学工学部国際交流センターHP (<http://yu-eng-iec.sakura.ne.jp/ja/>) の [留学生向け情報] から、ダウンロードしてください。

(2) Yamagata University Japan Studies Program（略称：JSP）

《ねらい》

諸外国の学部学生および大学院生が、日本についての理解を深めることを目的とします。

《特色》

日本語能力に関わらず日本についての理解を深めることができるよう、英語による講義を提供しています。学生は小白川キャンパスの学部等に所属します。

《期間》

2023年4月1日から2023年9月30日または2024年3月31日まで

2023年10月1日から2024年3月31日または2024年9月30日まで

《応募条件》

大学間協定校に在籍する学部学生または大学院生。応募時に学部2年次以上で、原則として、日本語を教育機関において150時間以上、学習していることが必要です。日本語能力が日本語能力試験「N3レベル」に達していない学生は、TOEFL、TOEIC、IELTS、その他（中国CETも可）の結果を提出して下さい。（英語能力が母語／バイリンガルの場合を除く）

* なお、交換留学前又は交換留学期間中に在籍大学を卒業する学生は、応募することができません。

² 受け入れの条件（学生の身分、交換人数等）は、学生交流協定に準じます。

4. 授業の紹介

(1) 学部・大学院一般交換留学 (Ippan)

●日本語コース (山形地区)

日本語プレースメントテストの結果に従い、自分のレベルにあったコースから日本語科目を選択して受講します。(下記は2022年度前期開講科目)

レベル	コース	科目 (1週のコマ数, 単位数) ³
初級前半	日本語初級1	総合 (4, 3)、読む (1, 1)、書く (1, 1)
初級後半	日本語初級2	総合 (4, 3)、読む (1, 1)、書く (1, 1)
中級前半	日本語中級1(春)	総合 (4, 4)、読む (1, 1)、書く (1, 1)
中級後半	日本語中級2(春)	総合 (4, 4)、読む (1, 1)、書く (1, 1)
共通科目		漢字1 (1, 1)、漢字2 (1, 1)、漢字3(春) (1, 1)、漢字4(春) (1, 1)
上級前半	日本語上級1(春)	読む (1, 1)、書く (1, 1)、話す (1, 1)、聞く (1, 1)
上級後半	日本語上級2(春)	読む (1, 1)、書く (1, 1)、話す (1, 1)
研究指導	研究プロジェクト	研究プロジェクトII (1, 2)

●日本語課外補講⁴ (米沢地区) (下記は2022年度前期開講科目)

レベル	科目
初 級	J 1 総合、漢字
初 中 級	J 2 総合、J 2 スキル
中 級	J 3 総合、J 3 スキル
上 級	J 4 総合、J 4 スキル

その他に大学院生対象のビジネス日本語講座もあります。

●日本語課外補講⁴ (鶴岡地区) 基礎 (2022年度後期開講科目)

●専門科目 山形大学の各学部・研究科のホームページを参照してください。

(2) Yamagata University Japan Studies Program (JSP)

次のふたつのコースそれぞれから、各学期2科目以上を履修します。

●日本語コース

上記の日本語コースを参照してください。

●日本文化論コース

(下記は2022年度開講科目)

前期

An Introduction to Japanese Culture I (1, 2)
 Introduction to Dialectology (1, 2)
 Introduction to Japanese Linguistics I (1, 2)
 Japanese Rites of Passage (1, 2)
 Japan Seen in Brief. Japanese Short Stories of the Twentieth Century (1, 2)
 Showa Japan I (1,2)

後期

An Introduction to Japanese Culture I (1, 2)
 Introduction to Elements of Japanese Society (1, 2)
 Japanese Popular History (1, 2)
 Seminar on cross-cultural understanding (1, 2)
 Shodo-Japanese Calligraphy
 Showa Japan II (1, 2)
 Thinking of Multicultural Symbiosis (1, 2)

³ 1コマ=90分。

⁴ 日本語課外補講は単位を修得する科目ではありません。

● 日本文化論コース授業内容（参考 2019 年前期）

- 霞城公園花見
- 平清水焼陶芸体験
- そば打ち
- 上山城見学と温泉体験
- 伝統楽器の講義と体験
- 着付け
- 南京玉すだれ、皿回し体験
- 山寺見学
- 座禅
- けん玉
- 茶道
- 高校訪問



山形大学国際交流サークル（IF）及びさまざまな国際交流団体が留学生を支援しており、これらの団体が主催する行事（芋煮会等）に参加することもできます。

山形大学の位置する山形県は、四季に恵まれ自然を身近に感じることができます。県内全域にわたって温泉を楽しむことができ、温かい人々とふれあうことができる山形県で、充実した留学生生活を送ることができるでしょう。

5. 日本での生活

● 前期、後期の流れ

前期は4月上旬に始まり、8月上旬までです。その後9月まで夏休みです。

後期は10月1日に始まります。12月下旬から1月のはじめにかけて、15日日間程度の冬休みがあります。2月下旬から3月は春休みです。

前期	4月	前期開始、オリエンテーション 日本語プレースメントテスト、履修登録
	7月下旬～8月上旬	期末試験
	8月下旬～9月	夏休み
後期	9月中旬	オリエンテーション、日本語プレースメントテスト
	10月	後期開始、履修登録
	12月下旬～1月はじめ	冬休み
	2月上旬	期末試験
	2月下旬～4月はじめ	春休み

● 来日直後の流れ

山形に到着した後、山形国際交流会館等に入居します。その後、住居地の届出や銀行口座の開設などの手続き、日本語プレースメントテスト、生活と勉強のオリエンテーション、などがあります。学期の最初の週に、授業を受けて履修登録をします。「チューター」と呼ばれる山形大学の学生が、日本の生活に慣れるよう援助します。

●住居と生活費（山形地区）

山形大学（山形地区）で受け入れる短期留学生は、山形国際交流会館（香澄町）または清明寮に住むことができます。ただし、入居希望者が多い場合は、入居できないことがあります。各寮への入居許可者は小白川キャンパス国際センターが選考し決定します。

山形国際交流会館（香澄町）へは、徒歩で約 20 分程度です。商店街にも近く、生活には大変便利な場所です。

清明寮は、小白川キャンパスから徒歩で約 30 分です。また、小白川キャンパスからはシャトルバスが運行しています。（時期により運行本数が増減します。）会館の周囲は山々に囲まれ、緑豊かな自然の中で四季を感じられるほか、小高い山への散策などもできる環境にあります。

料金については、表のとおりです。電気・ガス・水道の公共料金は別途かかります。インターネットを使用することもできます。

単身室の室数が限られているため、夫婦室又は家族室をルームシェアすることもあります。

名称	タイプ	寄宿料／月	共益費／月	保証積立金 ／入居時	寝具リース料金 ／人
山形国際交流会館 （香澄町）	単身室	¥5,900	¥4,000 ※	¥30,000	約¥10,000 （1 学期） 約¥13,000 （1 年）
	夫婦室	¥11,900		¥36,000	
	家族室	¥14,200		¥45,000	
清 明 寮	単身室	¥10,000 ※	¥1,000/入居時のみ	¥30,000	

山形国際交流会館（香澄町）及び清明寮のインターネット使用料は上記の※の金額に含まれます。

保証積立金は、退去後の清掃代金等に充てられ、残金があれば返金しますが、不足があればその分を徴収します。

山形国際交流会館（香澄町）または清明寮に入居できない短期留学生には、民間アパートの部屋探しのお手伝いをします。家賃は、家具・食事付きの部屋で 50,000 円～70,000 円、家具付・風呂トイレ付の部屋で 30,000 円～50,000 円、風呂トイレ共同で 15,000 円～20,000 円ぐらいです。さらに、入居の時に、敷金として 1～2 か月分の家賃程度の金額を支払う必要があります。

山形で生活するには、部屋代以外に光熱費、食費、娯楽・教養、交通費、通信費等、毎月 60,000 円程度かかります。アルバイトをするかどうかは、勉強に支障のない範囲で決めてください。アルバイトをするには、「資格外活動許可」を出入国在留管理庁から得る必要があります。入国審査時に資格外活動許可を取得することができます。

※ 工学部・大学院理工学研究科工学系・有機材料システム研究科のある米沢地区での住居と生活費については、工学部の受入プログラムである **STEP-YUFE** の募集要項をご確認ください。

STEP-YUFE 募集要項： 山形大学工学部国際交流センターHP (<http://yu-eng-iec.sakura.ne.jp/ja/>) の [留学生向け情報] をご覧下さい。

●保険への加入

次に示す2種類の保険に加入してください。

(1) 国民健康保険（費用：21,000 円/年程度）

日本に在留資格「留学」で滞在する外国人は、日本に来てから、国民健康保険に加入する義務があります。医療機関で診療を受ける時に受付窓口で保険証を提示すれば、あなたが支払う医療費は30%になります。

(2) 国民健康保険以外の保険

山形大学に留学する際は、国民健康保険とは別に、大学が指定する外国人留学生向けの対人・対物事故に備える保険及び不慮の事故によるケガ等に備える保険に加入してください。（費用：12,500 円/年程度）

●短期交換留学を期間途中で中止する場合

渡日後、やむを得ない事情により短期交換留学を期間途中で中止して帰国する場合は、短期交換留学生は、帰国希望日の3週間前（帰国希望日の3週間前が、土、日、祝休日等、本学の留学支援担当の窓口休業日の場合はその前営業日）までに、留学支援担当へ申し出てください。

なお、山形国際交流会館（香澄町）、清明寮の入居者の退去可能日は、本学の留学支援担当の窓口営業日に限られます。

また、民間アパートに入居する場合は、契約するときに、退去可能日や退去申出の期限をご確認ください。民間アパートの退去に関わる手配等は自分で手配いただくようお願い致します。

6. 応募方法と締め切り

STEP-YU への受入れ候補者の選考は、提出された書類をもとに行います。2023年4月からの留学を希望する場合は、2022年11月1日（日本時間）までに、2023年10月からの留学を希望する場合は、2023年5月1日（日本時間）までに、所属大学の留学生課や国際オフィス等を通して応募してください。所属大学の担当者は、応募書類を次のメールアドレスに送付してください。

山形大学小白川キャンパス国際センター

(小白川キャンパス事務部 運営支援課留学支援担当)

E-mail yu-int-office@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

なお、応募者が複数名の場合は、大学で推薦順位を付してください。

■応募書類一覧（指定のデータ形式でご提出ください）

STEP-YU 様式	提出書類
様式 1-1	申請書 (Word データ)
	英語能力試験の結果 (PDF データ) ※日本語能力が日本語能力試験「N3レベル」に達していない学生は TOEFL、TOEIC、IELTS、その他（中国 CET も可）の結果を添付すること。（英語能力が母語／バイリンガルの場合を除く）
様式 1-2	学習・研究計画書 (Word データ)
様式 2-1	日本語教員による推薦状 (PDF データ)
様式 2-2	教員の推薦状（学生を一年以上知っている教員によるもの） (PDF データ)
様式 3	山形大学健康診断書 (PDF データ) (PDF データをメールで送信する事に問題がある場合は、郵送も可とする。)
様式 4	写真票 (Word データ)
	在留資格認定証明書交付申請書 (Excel データ)
	在籍大学の成績表 (PDF データ)
	日本語能力試験やほかの日本語能力試験の結果（画像）※受験している場合のみで可 (PDF データ)
	パスポート ※有効期限が留学期間中に満了しないもの (PDF データ)
	入居許可申請書 ※山形国際交流会館又は清明寮への入寮を希望する場合のみで可 (PDF データ)

◎各様式は、山形大学の HP（国際交流＞STEP-YU）で入手可能。「山形大学 STEP-YU」で検索してください。（<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/international/step-yu/>）

◎工学部・大学院理工学研究科工学系・有機材料システム研究科で専門科目授業の受講又は専門分野の研究をしたい方は、工学部の受入プログラムである STEP-YUFE の募集要項に記載の応募書類一覧に基づき、STEP-YUFE の応募書類様式を使用して応募してください。STEP-YUFE の募集要項・応募書類様式は、山形大学工学部国際交流センターHP (<http://yu-eng-iec.sakura.ne.jp/ja/>) の [留学生向け情報] から、ダウンロードしてください。

7. 結果の通知

山形大学への応募の結果は、4月入学予定の学生には3月中旬頃に、10月入学予定の学生には8月末頃に、あなたの大学の留学生課に通知し、ビザをとるのに必要な Certificate of Eligibility を送ります。日本大使館あるいは領事館での手続き、航空券の手配は自分で行ってください。